

## 【大阪府高槻市】

### 背景・課題

・中心市街地で保育需要増  
→ 0～2歳児を中心に利便性の高い地域で保育を求める声

※待機児童数 78人 (市全体：H21年度)  
3～5歳児 5人  
0～2歳児 73人 (93.6%)

### 年齢層ごとの子育てニーズに即した施設整備

- ・総合戦略プラン（H23年作成）に「子育て・教育の環境が整ったまち」を将来の都市像として設定。
- ・0～2歳児については、中心市街地に小規模保育事業所を整備。
- ・3歳児以降については、既存施設を活用しつつ機能を強化。
- ・H26、27、28年度 待機児童ゼロを達成。

○高槻市の推進する「集約型都市づくり」のまちづくりと連携した、地域の特性・ニーズに合った子育て環境の整備



#### 【拠点市街地】

##### 0～2歳児を中心とした保育の支援体制強化

- 保育施設による供給を補完するため、小規模保育事業所整備を拠点市街地で集中的に推進
- 利便性の高い駅前等で子育て世代の通勤動線に適応

##### 小規模保育事業所の整備

共同住宅の改装など (定員19名, 0～2歳児)



##### 様々なニーズに対応した保育施策の展開 (高次機能)

- 転入や育児休業明けなど年度途中の保育や、病児保育・休日保育など多様なニーズに対応するため、多機能をもつ保育施設を拠点市街地で整備

##### 高槻子ども未来館 (仮称)

認定こども園や病児保育・休日保育など多機能型保育 (定員200名規模, 0～5歳児)



※平成31年開設予定

#### 【各生活圏・拠点市街地】

##### 既存施設を活用した3歳児以降の保育

- 小規模保育事業所の3歳児以降の受入れ先として、既存の認定こども園や幼稚園、保育所を連携施設として活用